

## NPO法人 新町川を守る会

徳島県徳島市

### 【活動概要・効果】

#### ☆「一人の百歩より百人の一步を」

○地元新町川の清掃活動・環境美化活動を中心として、「無料周遊船の運航」、「吉野川フェスティバル」、「川からサンタがやってくる」など、水辺を活かした様々なイベントを継続して実施するとともに、県内外のNPO等との交流・連携による活動も繰り広げている。

☆有志数人で始まった取り組みは、現在、法人会員を合わせると280名までに拡大している。清掃活動は企業等の研修や学校の課外活動に取り入れられるなど、地道な活動が周辺地域の美化意識の向上に寄与している。

☆水辺を活かした様々なイベントは、地域に人々の賑わいをもたらしており、特に周遊船の乗船客においては、その4割が県外客であり観光客の誘致など、地域の経済活性化に寄与している。



ひょうたん島遊覧船（かもめと遊覧）

#### 《人員確保での工夫・苦勞》

ボランティア活動は地味な活動の連続で、何ら社会的補償の無い立場である。

本会結成後18年が過ぎ会員も高齢化してきているが「一人の百歩より百人の一步」という考えで活動している。また、「できる時に、できる人が、できる事を」をスローガンとして活動して会員に強制することなく活動を実施している。

活動時は担当者が美味しい食べ物を用意し、人と人が心と心で結びつく心地よさを感じるような事業を展開するとともに、早朝から清掃や花壇の植栽を行うなど、人に認められ、感謝され、人間の持つ「認知の欲求」を感じられるような事業を展開している。

#### 《活動資金確保での工夫・苦勞》

川の清掃を行う参加者数が多くなると、清掃に使用する船を借り上げなくてはならないため、参加者に費用を負担してもらって清掃を行っている。また、吉野川フェスティバル等のイベントで飲食物を販売するなど様々な方法で資金を確保している。

水辺でのイベントの実施や、様々な賞の受賞によりマスコミに取り上げてもらう機会が増えたことから、市民の認知度が向上し、企業や市民からの寄付が集まりやすくなった。

#### 【現場の声】

会の設立当初は、ベッドやバイクなど驚くようなゴミが川に捨てられており、清掃に使用している船はすぐに満杯になっていた。また、活動当初は住民から奇異な目で見られる事もあり、なにか特殊な団体として捉えられていたが、継続して活動することで市民に認識され、理解を得られるようになった。

徳島市が隔週末に行っていた「ひょうたん島遊覧船試乗会」を毎日運航したいと考え、市からの委託事業として依頼されるようになった。無料で行っているため運航経費の捻出に苦勞しているが、遊覧船の乗船が無償だからこそ住民や企業、行政の理解、協力が得られた。

これまで、会の活動を継続して続けてきた事によって市民から認知され、今ではまちづくりの一役を担うまでになっている。川がきれいになり、まちが活気づくのがわかることや、住民の方々の感謝の言葉が私たちボランティアの喜びであり、作業の配当であると考えている。

～特定非営利活動法人 新町川を守る会  
中村 英雄さん



吉野川フェスティバル